

二中 学校便り



善は急げ

—良い行いは急いででもやろう—

E やまと・みなみまちグループ
東大和市立第二中学校
令和8年度 第3号
(令和8年6月26日)
校長 大島 清和

AIに奪われないもの

校長 大島 清和

6月も後半になり、あと1か月で夏休みになります。5月から今までの間に3年生最後となる部活動の応援に行きました。それぞれが日頃からの練習の成果を十分に発揮することができていたと思います。一生懸命に競技に打ち込む生徒の姿はもちろんのこと、何よりも感動的だったのは生徒と保護者の皆様が応援する姿です。観客席は立ち見が出るほど埋め尽くされ、ピンチの時には励ましの言葉、ナイスプレーには歓喜の声、体育大会の感動が蘇りました。生徒の皆さん、保護者の皆様、感動をありがとうございました。また野球部は都大会への出場、吹奏楽部、合唱部、軽音楽部は7月11日の『けやきジュニア音楽祭』やコンクールに向けて練習が続いています。私も応援を続けます。

さて、話は変わりますが『AIが発達してもなくなる仕事は?』とAIに聞くと。

医師・介護士・教員・職人・保育士……

教員がその中に入っています。単純に嬉しい気持ちになります。さらに、どうしてなくなるのか?と聞いてみると、AIは瞬時に答えます。

人と人の信頼関係づくりが中心

正解が一つではなく、状況に応じた判断が必要

35年間の教職経験を思い返しても「その通り」と納得できるものです。教員の仕事に必要なスキルにこの2つは欠かせません。信頼関係の構築はAIには難しいようです。教職員は毎日、生徒の表情を見て『何か良いことがあったのかな』『今日は元気がないな』と思うことがありますが、それは生徒も同じです。「先生、今日はやけに明るいな」「先生、何か嫌なことがあったのかな」こうした日々の教育活動の中で、正解のない状況に応じた相手を思いやる気持ちや自分事として捉えることを学び、信頼関係を築いていくことが、AIにはできない、AIには奪うことのできない、私たち教員の仕事の柱だと思います。勉強することは大切ですが、それはいい点数を取るということではありません。いい点数だけが目的ならAIでもできそうですね。

今後もAIを活用しながらもAIにはできないことを大切に、生徒に寄り添い、励まし、生徒が主役になれる教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今夏も厳しい暑さが予想されています。どうぞご自愛ください。

学校の様子

生徒総会

5月8日に生徒総会が行われました。二中をますます良い学校にするためにはどうすればよいかを、一人一人が真剣に考え、各委員会の活動計画等について、活発な質疑応答が行われました。



体育大会

5月30日に体育大会が行われました。練習や準備の段階から、各自が役割を果たし、生徒たちの力で作り上げた体育大会でした。本番でも、一生懸命なプレー、温かい協力、熱い応援など、たくさんの感動が生まれました。

多くの保護者の皆様にもご来校いただき、ありがとうございました。



講師着任のお知らせ

7月1日より 講師が着任いたします。 講師は、1年の国語の授業を担当いたします。2年の国語の授業を担当する講師についてもできる限り早く任用できるよう手続きを進めております。

1学期は、1・2年の国語の授業時数が大幅に減っておりますが、少しでも多く実施できるよう3年の 教諭が、1・2年の授業も本来の担当時数以上に行っているところです。生徒・保護者の皆様には、ご迷惑、ご心配をおかけしますが、ご理解いただけますよう、お願いいたします。